

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	「令和4年度 NPO 法人オールさこんやまの機能強化」委託	
事業の実施者	団体等	NPO 法人オールさこんやま、NPO 法人横浜プランナーズネットワーク
	行政	横浜市旭区役所区政推進課
事業の目的	旭区とNPO法人オールさこんやまが協働する団地再生の取組として立ち上げた「大学生入居事業」、「まちづくり方針検討会議」、「ちょこっと応援隊」（以下「区との協働事業」という）について、活動の担い手や資金を確保し、地域で自立して運営できるような仕組みづくりをする	
事業の内容	ア オールさこんやまの経営面での取組強化 イ 事務局機能強化事業 ウ 大学生入居事業 エ 報告書の作成	
役割及び責任分担等	別紙資料参照	
実施期間	令和4年5月13日から令和5年3月31日まで	

記入日	令和 5 年 3 月 31 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人オールさこんやま</li> <li>・記入責任者 理事長 氏名： 林 重克 連絡先： 045-744-6585</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人横浜プランナーズネットワーク</li> <li>・記入責任者</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名： 山路 清貴</li> <li>連絡先： 045-681-1223</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 横浜市旭区役所区政推進課</li> <li>・記入責任者</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名： 松永、中島</li> <li>連絡先： 045-954-6027</li> </ul>

**別紙資料** 役割及び責任分担等

事業項目 事業内容	役割		
	甲（NPO 法人オールさ こんやま）の役割	横浜市（旭区）の役割	乙（NPO 法人横浜プラ ンナーズネットワー ク）の役割
<p>（１）オールさこんやまの経営面での取組強化</p> <p>・「ほっとさこんやま」の既存事業の改善策や空きスペース、未利用時間帯を活用した新たな事業導入の可能性の検討</p> <p>・組織を資金面で支える仕組みの検討、導入（よこはま夢ファンドや企業からの寄付金、補助金の獲得等）</p>	<p>①会議の開催 会場確保、招集</p> <p>②検討・活動チームの立ち上げ、取組の実践</p> <p>③取組を実践するにあたり必要な人員の募集・決定</p> <p>④乙が提案するにあたり必要な情報の提供、共有</p>	<p>・協働事業者間の調整（事業推進上の課題等、協議の場の設定等）</p>	<p>①甲からの依頼に基づく情報収集・提供、資料作成、相談対応、助言等、打ち合わせ等への出席</p> <p>②新規事業を立ち上げる際の支援（アクションプランの策定支援等）</p> <p>③ほっとさこんやまの運用改善に関する提案、実践の支援</p>
<p>（２）事務局機能強化</p> <p>・機能分担を図ることや意思決定のスキームを確立することで、組織的な運営体制を実現する</p>	<p>①事務局運営の実践</p> <p>②半期に１回程度、乙と情報共有や相談をするための会議や打ち合わせを行う</p>	<p>・協働事業者間の調整（事業推進上の課題等、協議の場の設定等）</p>	<p>①甲からの依頼に基づく情報収集・提供、資料作成、相談対応、助言等、（半期に１回程度行う）打ち合わせ等への出席</p>
<p>（３）大学生入居事業</p> <p>・入居学生定例会の運営、入居学生の取組事項の整理、管理</p> <p>・入居学生定例会、大学生入居事業関係者会議等を通じた情報共有、関係者間の連携強化</p>	<p>①本事業に関わる運営</p> <p>②半期に１回、乙と情報共有や相談をするための会議や打ち合わせを開催</p> <p>③大学生入居事業関係者会議への出席</p>	<p>①学生の活動の周知等に広報での協力</p> <p>②必要に応じ、大学生入居事業関係者間の調整</p>	<p>①甲からの依頼に基づく情報収集・提供、資料作成、相談対応、助言等、（半期に１回程度行う）打ち合わせ等への出席</p> <p>②大学生入居事業関係者会議への出席</p>
<p>（４）報告書の作成</p>			<p>①報告書の作成</p>

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないました。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

		オール さこんや ま	横浜プラン ナーズネット ワーク	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	B	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A	A

### ②事業実施段階

		オール さこんや ま	横浜プラン ナーズネット ワーク	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A	A

(次項あり)

### ③ふりかえり段階

		オール さこんやま	横浜プランナ ーズネットワ ーク	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A	A
2	受益者（地域、大学生）が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A	A

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成しました。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたこと、成果等】 ○協働事業の目的、優先すべき取組項目、役割分担 ○各主体の連絡窓口、話し合いの進め方 ○オールさこんやまの意思決定機関である幹部会で事業計画の検討、議論したうえで本事業を実施
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたこと、成果等】 ○事業の課題感、優先事項 ○事業運営、進め方のノウハウ(サービスB事業を実施している専門家による支援等) ○対象となりうる補助金の一覧、申請方法 ○協働事業の主体者が「協働三者会議」を設置し、定期的に双方から提案を持ち寄り検討
<b>事業全体の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
○オールさこんやまが主体として大学生入居事業(定例会、メンバー募集等)を運営する体制が構築、現メンバーを通じて、入居大学生(新メンバー)を募集。大学生入居事業が次年度も継続 ○オールさこんやま内で事業の意思決定、計画の検討を行う会議体(幹部会)が確立 ○横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)のトライアルを実施し、運営ノウハウを蓄積。あわせて次年度分の補助事業の申請を行い、経営基盤を強化
<b>自由記入欄</b>
○事業の目的の理解や取組項目を計画段階で丁寧に議論ができたことで、円滑に事業を進めることができた。 ○協働事業としては最終年度であることを踏まえ、事業の運営や補助金申請等を地域が中心となってトライアルすることでノウハウを蓄積し、今後の事業の継続性を高めることができた。 ○今後は地域が自立的に大学生入居事業等を運営していくことになるが、その他関係団体も情報交換等を通じてフォローアップしていく。